

編集の趣旨と特色

令和9年度版「美術2」
高等学校

Point 1 社会とのつながりを意識した題材構成

Point 2 学びが深まる鑑賞題材

Point 3 発想の源を探る「作家のスケッチブック」

Point 4 理解が深まる美術史年表

Point 5 便利な技法動画

内容解説資料 本資料は、一般社団法人教科書協会が定めた「教科書発行者行動規範」に則って作成したものです。

光村図書

光村の美術教科書ラインアップ

美術1

38 光村 美Ⅰ 701



38 光村 美Ⅰ 038-901



美術2

38 光村 美Ⅱ 038-901



美術3

38 光村 美Ⅲ 701



著作者	[美術評論家]
酒井忠康	[アニメーション作家・東京藝術大学大学院教授]
伊藤有彦	[大分大学教育学部附属中学校指導教諭]
岩佐まゆみ	[元高知大学教授]
上野行一	[画家・東京藝術大学名誉教授]
O JUN	[デザイナー・ナリスト・
川上典李子	21_21 DESIGN SIGHT アソシエイトディレクター]
川村真司	[クリエイティブディレクター]
柴田文江	[プロダクトデザイナー・多摩美術大学教授]
菅沼 聖	[山口情報芸術センター社会連携担当]
杉戸 洋	[画家・東京藝術大学教授]
鈴木雅之	[宮城県柴田郡大河原町立大河原中学校教頭]
タカザワケンジ	[写真評論家]
立川公子	[神奈川県立相模原中等教育学校教諭]
丹羽 裕	[宮城県鹿島台商業高等学校校長]
直江俊雄	[筑波大学教授]
中島千波	[日本画家・東京藝術大学名誉教授]
名取和幸	[色彩学研究者・一般財団法人日本色彩研究所理事長]
藤原えりみ	[美術ジャーナリスト]
保坂健二郎	[滋賀県立美術館ディレクター]
三沢厚彦	[彫刻家・武蔵野美術大学教授]
水沢 勉	[美術評論家・女子美術大学客員教授]
森山明子	[神戸芸術工科大学副学長・同大学大学院教授]
安村敏信	[一般財団法人北斎館館長]
渡辺晋輔	[三菱一号館美術館学芸グループ長]

カラーユニバーサルデザインに関する校閲

市原恭代 [工学院大学准教授・
NPO法人カラーユニバーサルデザイン機構 (CUDO) 理事]

特別支援教育に関する校閲

氏間和仁 [広島大学大学院教授]

編集協力

後藤 晋 [元岡山県立岡山芳泉高等学校教諭]
照屋詩子 [東京都立片倉高等学校教諭]
別所洋輝 [岐阜県立加納高等学校教諭]

教授資料のご案内

作品解説から指導案まで、
充実の内容で指導をサポート。

主な内容 (予定)

- 年間指導計画のための資料
- 掲載作品・作家解説
- 教科書題材に沿った学習指導案
- デジタル資料 (技法動画、ワークシート集など)

『高等学校 美術2 教授資料』

38 光村 美Ⅱ 038-901 対応

※教授資料は現在編集中のため、内容が変わる可能性があります。

内容解説資料

発行者：吉田直樹
 発行所：光村図書出版株式会社
 〒141-8675 東京都品川区上大崎 2-19-9
 電話：03-3493-2111 (代表)
 印刷：梅田印刷株式会社
 デザイン：There There イラスト：SANDER STUDIO、海道建太
 撮影：竹達照夫

LINE 公式アカウント 友だち募集中！
授業づくりに役立つ情報を、いち早くお届けします。

光村図書ウェブサイト

光村図書 検索



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です。



光村図書

社会とのつながりを意識した題材構成

社会の課題を解決するための取り組みや、生成AIなどの最新技術を生かした作例を、随所で取り上げました。
生活や社会における美術の役割や可能性について考えることができます。

「環境に配慮したデザイン」 P.52～53

デザイン

環境に配慮したデザイン

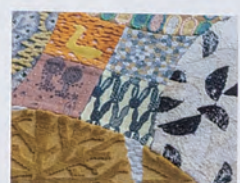
私たちの生活は、環境に負荷をかけながら営まれているが、その負荷を少しでも減らすために、さまざまな工夫がなされている。環境に配慮したデザインを鑑賞し、考えたことを話し合ってみよう。

目標 環境に配慮したデザインに込められた意図や工夫を感じ取る。

節のある木材と余り布を活用した椅子
高さ76.5cm 2013年～
企画ディレクション：藤川 明 [1967～東京都出身]
椅子のデザイン：深澤 直人 [1956～山梨県出身]



フレームには、通常の生産ラインから外される節などのある個性のある木目の木材が使われている。あえてこれらの材料を使うことで、素材の個性を豊かな価値として提案している。



座面には、洋服などを仕立てる際に出る余り布が使われている。余り布をつなぎ合わせて利用することで、同じものが他にはない、唯一無二の存在であるという新しい価値が生み出されている。



余り布でできたバッグ
32×34cm 2013年～
余り布のパッチワークでつくられた椅子の座面と同じ形のバッグ。関連製品としてつくられた。

52

余った素材を生まれ変わらせるデザイン

廃棄物を活用したプロダクト



貝殻を素材とするヘルメット
高さ15cm(ヘルム部分は除く) 2022年
ホタテの貝殻とリサイクルプラスチックなどを素材にしてつくられたヘルメット。廃棄されても、新たなヘルメットの素材として再利用することができる。ホタテの貝殻の溝のある構造をデザインに取り入れることで、強度を高めている。



上：生産地では、ホタテを加工する際に廃棄される大量の貝殻の処分が課題となっていた。
下：粉碎した貝殻がプラスチックに混ぜ込まれることで、強度のある新素材になった。



左：一般的なドライバーで簡単に分解することができる。
下：カメラ、バッテリー、スピーカーなど、機能ごとにパーツが分かれているため、壊れたり、古くなったりした部品のみを選んで交換することができる。



修理しやすいスマートフォン
16.2×7.6cm 2023年

オランダの会社がつくったスマートフォン。増え続ける電子ごみは世界中で大きな問題になっており、ヨーロッパでは、ユーザーが修理することを前提にした機器が多くつくられている。部品を取り替えたり、アップグレードしたりすることで、長く使い続けることができる。

増え続ける電子ごみへの対応

環境問題

「映像表現の広がり」 P.66～69



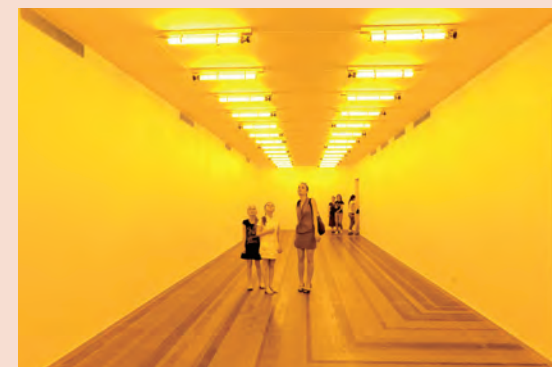
生成AIやAR（拡張現実）、プロジェクションマッピングなど、最新の技術を生かして制作された映像作品を掲載しました。

P.69「Machine Hallucinations — Nature Dreams」
レフィーク・アナドル

「美術とエンジニアリング」 P.28～31

数学、物理学などの知識や科学技術を活用してものをつくる「エンジニアリング（工学）」を生かして制作された美術作品を掲載しました。

P.29「一色の部屋」
オラファー・エリアソン



防災

「防災のデザイン」 P.54～55



いつ、どこで起こるかわからない災害から命と暮らしを守るための、防災におけるデザインの役割や工夫を紹介しました。

P.54
「段ボール製の簡易住宅」
北川 啓介

生活や社会の中の美術の働きがよくわかるね。



Point 2 学びが深まる鑑賞題材

伊藤若冲の作品「動植綵絵」を鑑賞する題材を新たに設定し、作品が描かれた背景や表現の特徴を詳しく解説しました。日本の美術について、より深く学ぶことができます。

QRコンテンツでもっと詳しく

QRコードから、作品について短時間で学ぶことができる解説動画や、「動植綵絵」全30幅の鑑賞図版を見ることができます。



解説動画 伊藤若冲「動植綵絵」



鑑賞図版 「動植綵絵」全30幅

！全点掲載！！



→詳しくは別資料
「学びを深めるQRコンテンツ」へ。

鑑賞のポイントを丁寧に解説

若冲の独自の表現方法について詳しく解説。作者や作品についての理解が深まります。



紙面とQRコンテンツを
合わせて鑑賞することで、
学びが深まるよ。

作品を読み解く

国宝「動植綵絵」

江戸時代の絵師、伊藤若冲が約10年の歳月をかけて完成させた花鳥画の連作で、全30幅から成る。誰かの注文によるものではなく、自ら思い立って描き始めたもので、完成後は京都の相国寺に寄進された。明治時代には数多くの美術品が海外に流出したが、「動植綵絵」は、相国寺が皇室に一括で献納したことで、散逸することなく現在に伝わっている。



解説動画や他の
作品を見てみよう。

POINT

生き物へのまなざし

中国の古画を模写して絵を学んだ若冲は、やがて誰かが描いたものをなぞるのではなく、対象を直接見て描きたいと思うようになった。まず、二ワトリを庭に数十羽放し飼いにして観察し、数年にわたり写生を繰り返した。その後、描く対象を植物や魚、虫などへも広げていったと伝えられている。



①「南天雄鶏図」の部分。とさかや羽の模様が、細かく丁寧に描き込まれている。

POINT

細密な描写

若冲は細部を描くことに対して並々ならぬ力を注いだ。花の雄しべ、鳥の羽毛、毛虫の毛の1本に至るまで、肉眼では見えないほどの細かい線を描いている。さらに、薄塗りで鮮やかに発色する最高級の絵の具を、絵絹（日本画を描くときに使われる布）の表だけでなく裏からも塗り、立体感を加えた。そのような写実的な描写のいっぽう、②「菊花流水図」の水や③「雪中錦鶏図」の雪は非現実的な形にデフォルメされており、画面の中で写実と幻想が渾然一体となっている。

①南天雄鶏図



12

②菊花流水図



③諸魚図



⑦池辺群虫図



美しい高精細図版

扉のページには、「老松白鳳図」の部分を大きく掲載。鳳凰の透き通るような羽の表現をじっくりと鑑賞することができます。

緻密な
描写が
よくわかる！

「動植綵絵」老松白鳳図（部分）

ページをめくると……

全30幅の中から、選りすぐりの10幅を掲載。作品を見比べながら、写実的な描写・幻想的な表現をじっくりと鑑賞することができます。

発想の源を探る「作家のスケッチブック」

「画家」「彫刻家」「デザイナー」「建築家」のスケッチを掲載しました。
身近なモチーフを描いたもの、作品の構想をまとめたものなど、
多様なスケッチを鑑賞することができます。

表現の
参考になる
新設ページ

風合いのある用紙

全8ページにわたって、スケッチブックを思わせる
ような、風合いのある用紙を使用しています。

スケッチを掲載している作家一覧

画家

- J・M・ウィリアム・ターナー
- マルク・シャガール
- フィンセント・ファン・ゴッホ
- 片岡球子
- エゴン・シーレ

彫刻家

- アルベルト・ジャコメッティ
- 青木野枝
- 三沢厚彦
- ヘンリー・ムア

デザイナー

- 上野リチ・リックス
- アルネ・ヤコブセン
- 三宅一生
- 須藤玲子

建築家

- ザハ・ハディド
- 伊東豊雄



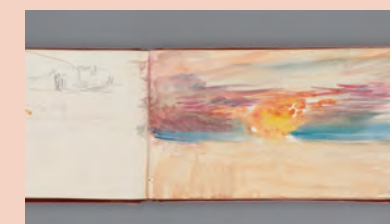
QRコンテンツでもっと詳しく

解説動画には、紙面に掲載
しきれなかったページも多
数収録しています。



解説動画

「J・M・ウィリアム・ターナーのスケッチブック」



→詳しくは別資料
「学びを深めるQRコンテンツ」へ。

実際にスケッチブックを
のぞいているみたい!



題材とのリンク

解説文とともに、題材へのリンクを示しました。リ
ンク先のページには、その作家が制作した作品を
掲載し、関連づけて指導できるようにしました。

Point 4 理解が深まる美術史年表

「日本現代美術史年表」、「日本デザイン史年表」、「戦後日本の建築」の三つの年表を新たに設けました。
近現代の日本の美術史について、わかりやすく解説をしています。

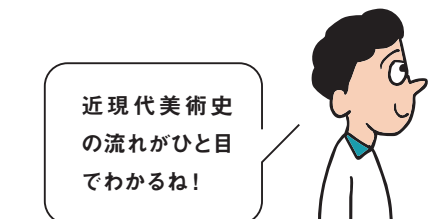


① P.32～33「日本現代美術史年表」

3分野の年表を掲載！

- ①「日本現代美術史年表」(P.32～34)
- ②「日本デザイン史年表」(P.58～59)
- ③「戦後日本の建築」(P.60)

→ 令和8年度版「美術1」の年表と合わせて使う
ことで、いっそう理解が深まります。
(詳しくはP.11「楽しく学べる美術史年表」へ。)



Point 5 便利な技法動画

鉛筆デッサン、水彩、油彩、版画、^{そと}塑造など、高校美術で使われる技法を丁寧に解説した動画(QRコンテンツ)を
巻末にまとめて掲載しました。必要に応じて、いつでも確認することができます。



鉛筆の技法

- 鉛筆の削り方
- 鉛筆の持ち方
- グラデーションをつくる(1ますごとのグラデーション)
- グラデーションをつくる(ひと続きのグラデーション)
- 練りゴムの使い方
- ぼかし方の基本
- 静物を描く(リンゴを描く)
- 静物を描く(質感の異なるものを描く)
- 石膏像を描く
- 手を描く

さまざまな技法

- パステルで描く
- パステルを粉にして指で描く
- 水墨画のさまざまな技法
- 水彩絵の具で描く
- 油絵の具で描く
- 油絵の具の片づけの手順
- アクリル絵の具で描く
- 日本画の絵の具で描く
- 木版で表す
- ドライポイントで表す
- 塑造で表す
- レタリングの手順

→詳しくは別資料「学びを深めるQRコンテンツ」へ。



P.72「学習を支える資料一覧」

計22本



38 光村 美 I 038-901

「美術1」のご案内

生徒が「一生もの」の美術の力を育てられるような教科書を目指しました。

Point 1 基本が身につく「鉛筆BOOK」

表現の基本である鉛筆デッサン。鉛筆の削り方から石膏デッサンまで、鉛筆の扱い方やさまざまな表現を学べるようにしました。

鉛筆の全て
がわかる！

鉛筆 BOOK

鉛筆の動画を
10本ご用意！

- 鉛筆の削り方
- 鉛筆の持ち方
- グラデーションをつくる1
- グラデーションをつくる2
- 練りゴムの使い方
- ぼかし方の基本
- リングを描く
- 質感の異なるものを描く
- 石膏像を描く
- 手を描く



描き込みやすい用紙を採用

「鉛筆BOOK」には、描き込みやすい用紙を使っています。教科書に直接塗ってグラデーションをつくることもできます。



P.82「鉛筆BOOKグラデーションをつくらう」より

詳しく、丁寧な解説

鉛筆の持ち方・削り方、練りゴムの使い方、ガーゼを使ったぼかし方など、鉛筆デッサンに欠かせない基本的な用具の使い方を詳しく掲載。また、デッサンの基礎である、形、光、質感について、丁寧に解説しました。

P.81「鉛筆BOOK」

Point 2 楽しく学べる美術史年表

美術史を知ると、美術はもっとおもしろくなる。西洋美術、日本美術、デザイン、写真、映像表現、全ての分野に年表を用意し、ポイントをわかりやすく示しました。

分野ごとの年表

題材や作品と関連づけて指導しやすい構成です。

QRコンテンツ

解説動画

美術史用語や作家、作品について、詳しい解説動画を視聴することができます。



解説動画「印象派」



P.42～44「西洋美術史年表」

Point 3 質感が味わえる鑑賞題材

本物に近い風合いで日本美術の作品を鑑賞できるよう、和紙風の用紙に印刷しました。「鳥獣人物戯画 甲巻」の中でも特に人気のある甲巻を、始めから終わりまで全て掲載しています。

高級用紙に印刷

本物に近い風合いを再現するため、越前和紙の風合いをもつ高級用紙に印刷しました。

原寸大でじっくり鑑賞

QRコンテンツ

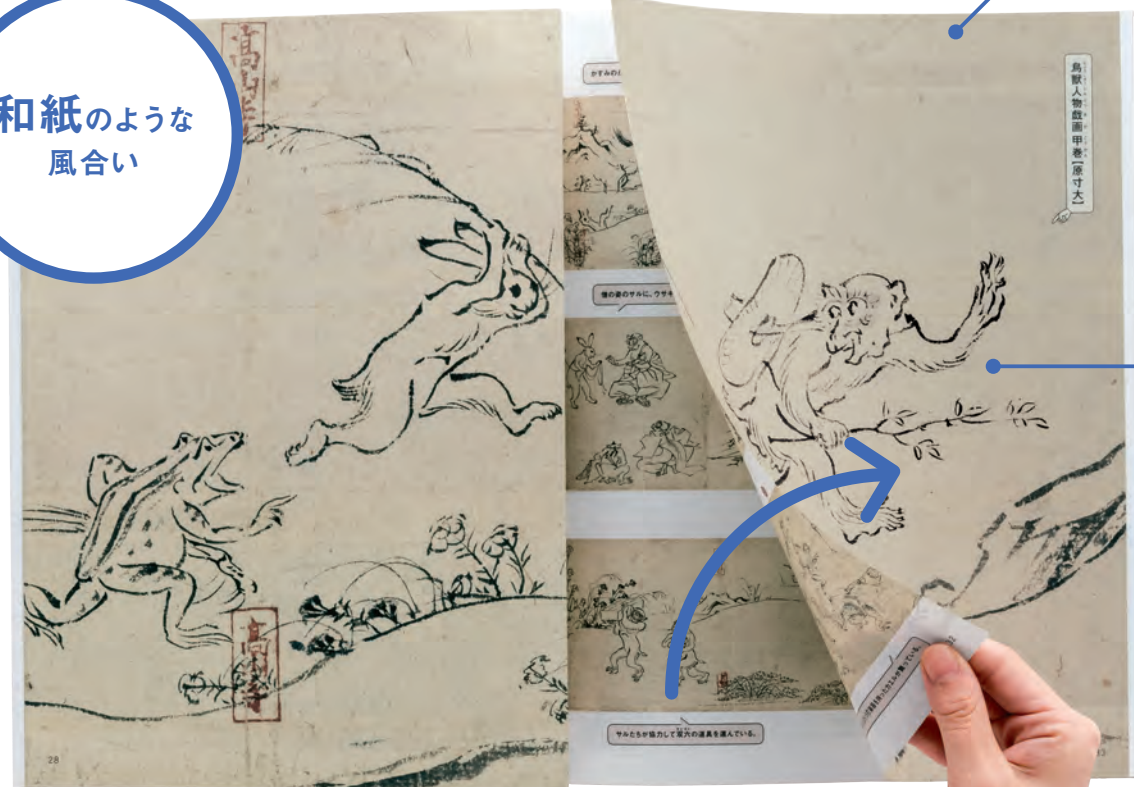
解説動画

「鳥獣人物戯画 甲巻」
「鳥獣人物戯画」の構成、絵巻物の鑑賞のしかたなどを詳しく解説しています。



ページをめくると……
「鳥獣人物戯画 甲巻」を全て見られます。

和紙のような
風合い



P.28～33「鳥獣人物戯画 甲巻」

令和9年度 教科書の題材構成

美術 1 (38 光村美 I 038-901)

分野等	題材	ページ
はじめに	★ 目次／前書き	P.2～3
絵画・彫刻	★ 絵画・彫刻の扉	P.4～5
	● 身近なものを描く	P.6～7
	● 風景を描く	P.8～11
	■ 作品を読み解く「グランド・ジャット島の日曜日の午後」	P.12～15
	● 想像した世界を描く	P.16～17
	作家の手法 池田 学	P.18～19
	■ アール・ブリュットの世界	P.20～21
	● 自己を表す ※映像メディア表現を含む	P.22～25
	● 墨で描く	P.26～27
	■ 作品を読み解く「鳥獣人物戯画 甲巻」	P.28～33
	■ 北斎・広重から広がる世界	P.34～35
	● 人の姿を捉える	P.36～37
	● 集めてつくる	P.38～39
	作家の手法 塩田千春	P.39
	■ 私たちに問いかける美術	P.40～41
	西洋美術史年表	P.42～44
	20世紀後半以降の美術	P.45
	日本美術史年表	P.46～47
	デザイン	★ デザインの扉
● 伝えるデザイン		P.50～53
● 暮らしを豊かに彩る文様		P.54～57
作家の手法 皆川 明		P.57
● 魅力的なパッケージをつくる		P.58～59
● 暮らしやすさのデザイン		P.60
作家の手法 柴田文江		P.61
■ 社会の仕組みをデザインする		P.62～63
デザイン史年表		P.64～65
映像メディア表現	★ 映像メディア表現の扉	P.66～67
	● 写真で表す	P.68～71
	● アニメーションをつくる	P.72～73
	● 記憶に残る映像をつくる	P.74
	作家の手法 川村真司	P.75
	写真史年表	P.76～77
	映像表現史年表	P.78～79
	人名索引	P.80
資料	《鉛筆BOOK》	P.81～88
	資料の扉	P.89
	水彩絵の具で描く	P.90～91
	油絵の具で描く	P.92～93
	アクリル絵の具で描く	P.94～95
	日本画の絵の具で描く	P.96～97
	版画の技法	P.98～101
	彫刻（塑造）の技法	P.102～103
	文字をデザインする	P.104～105
	漫画表現の技法	P.106～107
	写真を撮影する	P.108～109
	映像を制作する	P.110～111
	発想の広げ方①	P.112～113
	発想の広げ方②	P.114～115
	美術館を楽しむ	P.116
	鑑賞の手がかり	P.117
	色の仕組み	P.118～119
	色を分類する	P.120～121
	色の効果	P.122～123
	さまざまな配色	P.124～125
	日本と世界の伝統色	P.126～127
	切り離し式資料 混色のヒント／トーン別カラーガイド	P.129～132
		後書き

美術 2 (38 光村美Ⅱ 0381901)

分野等	題材	ページ
はじめに	★ 目次／前書き	P.2～3
絵画・彫刻	★ 絵画・彫刻の扉	P.4～5
	● 心の中の風景を描く	P.6～8
	作家の手法 杉戸 洋	P.9
	● 生き物を表す	P.10～11
	■ 作品を読み解く「動植物絵」	P.12～15
	■ 時代を超える琳派	P.16～17
	● 人物を描く	P.18～19
	■ 素材と向き合う	P.20～21
	● 不思議な空間をつくる	P.22
	作家の手法 目[mé]	P.23
デザイン	● 版表現の可能性	P.24～27
	■ 美術とエンジニアリング	P.28～31
	日本現代美術史年表	P.32～34
	作家のスケッチブック	P.35～42
	★ デザインの扉	P.43
	■ 椅子のデザイン	P.44～45
	● 心地よい空間をつくる	P.46～47
	■ 作品を読み解く ル・コルビュジエの建築	P.48～49
	● 統一感のあるデザイン	P.50～51
	作家の手法 色部義昭	P.51
映像 メディア表現	■ 環境に配慮したデザイン	P.52～53
	● 防災のデザイン	P.54～55
	■ 世界に羽ばたく日本のファッション	P.56～57
	日本デザイン史年表	P.58～59
	戦後日本の建築	P.60
	★ 映像メディア表現の扉	P.61
	● 写真表現の可能性	P.62～65
	● 映像表現の広がり	P.66～69
	人名索引	P.70
	学習を支える資料一覧	P.71～75
資料	後書き	P.76～77

美術3
(38 光村美皿 701)

分野等	題材	ページ
はじめに	★ 目次／前書き	P.2～4
	★ 私と美術	P.5～7
絵画・彫刻	● 鉛筆の可能性	P.8～9
	■ [作家の生涯と作品] フリーダ・カーロ	P.10～11
	■ [比べて鑑賞する] 俯瞰で描く 「洛中洛外図屏風」[百貨店圖 日本橋三越]	P.12～15
	● ものからの問いかけ	P.16～17
	■ 自然との対話	P.18～19
デザイン	● 世界の美術館と出会う	P.20～21
	■ ウェブデザインを考える	P.22
	作家の手法 中村勇吾	P.23
	● 本をデザインする	P.24～25
映像	● 演出して撮る	P.26～27
メディア表現	■ 映像を体感する	P.28～29
資料	社会を支える美術の仕事	P.30～33
	ポートフォリオをつくる	P.34～35
	美術館の役割	P.36～37
	学習を支える資料一覧	P.38～39
	後書き	P.40～41

※●は表現や鑑賞の題材、■は鑑賞中心の題材、★はオリエンテーションを示している。

令和9年度版教科書

検討の観点と内容の特色 高等学校用

美術1

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅰ	美術Ⅰ	38光村	美Ⅰ 038-901	光村図書出版

項目	観 点	特 色・具 体 例	該 当 ページ
① 内 容 の 選 択 ・ 程 度	◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。	題材、資料、学習活動全般に、学習指導要領に示された「美術Ⅰ」の目標・内容が踏まえられており、生徒が「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成できるよう工夫されている。	教科書全般
	◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	A表現・B鑑賞の題材がバランスよく適切に配置されている。また、全ての題材でA表現・B鑑賞を相互に関連させながら学習が深められるよう配慮されている。	
② 組 織 ・ 配 列 ・ 分 量	◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。	日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性を高め、美術文化に親しむことができるよう配慮されている。	教科書全般
	◎中高の接続に対する配慮がなされているか。	各題材や巻末にまとめられた資料では、作品をつくるときの手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、これらを活用することで、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的、基本的な事項を身につけられるよう配慮されている。	教科書全般
		題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。	教科書全般
		各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。	P.9、14、16、34
		関連する美術史用語をわかりやすく解説する「美術史ワード」が随所に設けられている。年表とのリンクが示されており、必要に応じて美術史における位置づけを確認させることができる。	P.11、17、24、26、51、59、69
		表現や鑑賞の題材の随所に、作品を発想し制作する際に参考になる「発想のヒント」が設けられており、発想のしかたが異なる生徒作品や、発想の手だてが紹介されている。	P.18～19、39、57、61、75
		表現や鑑賞の題材には、「作家の手法」というページが設けられており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう、作家の発想や制作過程が詳しく示されている。	P.20～21、38、40～41
		アール・ブリュットの作品を鑑賞する題材や、アジア、アフリカの作家の作品が大きく取り上げられている題材など、美術の多様性を感じさせる作品が多く掲載されている。	P.27～34
		屏風や絵巻物、浮世絵が和紙風の用紙に印刷されており、本物に近い風合いで鑑賞することができる。	P.4～5、23、34～35
		バブロ・ピカソ、葛飾北斎など、中学校美術科で扱った作家についてさらに深く学べるように、美術史的な背景や、後世の作家への影響などを紹介している。	P.42～45、46～47、64～65、76～77、78～79
③ 表 記 ・ 表 現 お よ び 使 用 上 の 便 宜	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。	各分野の最後に西洋美術、日本美術、デザイン、写真、映像表現、それぞれの年表が用語の解説とともに掲載されており、ジャンルごとに歴史を概観することができる。また、題材へのリンクが示されているので、関連づけて指導することができる。	P.81～88
	◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかた、活字の大きさ、行間などは適切か。	描き込める紙に印刷された8ページの「鉛筆BOOK」が設けられている。中学校美術科で学習したことをふまえ、鉛筆の削り方から石膏デッサンまで、表現の基礎となる鉛筆に関わる技法を幅広く学ぶことができる。	P.89～111
		巻末には「水彩絵の具で描く」「油絵の具で描く」などの技法についての資料がまとめられており、制作の流れや用具の使い方を適宜参照しながら学習指導を進めることができる。	P.112～115
		「発想の広げ方」では、発想を生み出し、広げるためのさまざまな方法が紹介されている。また、発想を広げるツールも紹介されており、表現や鑑賞に役立てることができる。	P.118～127、129～132
		色彩に関する資料が計14ページ設けられ、「共通事項」の指導に活用することができる。「混色のヒント／トーン別カラーガイド」は教科書から切り離すことができ、持ち運んで活用することができる。	教科書全般
		各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており、関連するQRコンテンツとリンクしている。	教科書全般
		主要な「美術史ワード」や、大きく取り上げている作品や作家については、QRコンテンツで解説動画を視聴し、鑑賞を深めることができる。	P.26、81～88、89～124
		「鉛筆BOOK」および題材や資料の技法解説ページからは、それぞれの技法の解説動画を視聴することができる。また、「共通事項」や発想に関連する資料ページは、「三原色体感ツール」など、それぞれの学習を深めるためのコンテンツにリンクしている。	P.6、8、16、22、38、50、68、72
		主な表現や鑑賞の題材は、全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツにリンクしている。多様な生徒作品を「作者の言葉」とともに鑑賞し、自分の表現に生かすことができる。	教科書全般
		用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。	
④ 配 慮	◎印刷の鮮明さ、製本などは適切か。	教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	教科書全般
	◎環境保全への配慮がなされているか。	カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。	
⑤ 所 見	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	活字は鮮明で、読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	教科書全般
		A4ワイド判(297×232mm)の紙面を生かし、観音開きのページや、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。	教科書全般
	◎環境保全への配慮がなされているか。	製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	教科書全般
		学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、幅広い表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる多様で豊富な資料、QRコンテンツなどが盛り込まれている。「美術の幅広い創造活動」を通して、「生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅰ」の学習指導要領の目標に合致している。	教科書全般

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅱ	美術2	38 光村	美Ⅱ 038-901	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例	該当ページ
① 内容の選択・程度	◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	題材、資料、学習活動全般に、学習指導要領に示された「美術Ⅱ」の目標・内容が踏まえられており、「美術Ⅰ」の学習を基礎にして、生徒が「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成できるよう工夫されている。 A表現・B鑑賞の題材がバランスよく適切に配置されている。また、全ての題材でA表現・B鑑賞を相互に関連させながら学習が深められるよう配慮されている。 日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性と美意識を高め、美術文化に親しむことができるよう配慮されている。 各題材や巻末にまとめられた資料では、作品をつくる時の手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、これらを活用することで、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的、基本的な事項を身につけられるよう配慮されている。	教科書全般
② 組織・配列・分量	◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ◎中高の接続に対する配慮がなされているか。	<div>題材</div> 題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。 表現や鑑賞の題材の随所に、作品を発想し制作する際に参考になる「発想のヒント」が設けられており、発想のしかたが異なる生徒作品や、発想の手だてが紹介されている。 表現や鑑賞の題材には、「作家の手法」というページが設けられており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとできるよう、作家の発想や制作過程が詳しく示されている。 環境問題や防災などの社会課題を扱う題材や、生成AIなど新しい技術を生かして制作された作品を扱う題材が設けられており、生徒が現代社会における美術の役割や可能性について自ら考えることができるよう配慮されている。 「作品を読み解く 動植綵絵」では、作品が描かれた背景や表現の特徴など、鑑賞のポイントを丁寧に解説し、日本の美術についてより深く学ぶことができるよう工夫されている。 「作家のスケッチブック」では、生徒が画家・彫刻家・デザイナー・建築家の多様なスケッチを鑑賞し、表現の参考にすることができる。当該ページには、風合いのある用紙が使用されており、実際にスケッチブックを開くようなイメージで鑑賞することができる。	教科書全般
		<div>資料</div> 「日本現代美術史年表」「日本デザイン史年表」「戦後日本の建築」の三つの年表が設けられており、近現代の日本の美術史について、理解をより深めることができる。	P.8、19、25、55、65、68
		<div>QRコンテンツ</div> 各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており、関連するQRコンテンツとリンクしている。 巻末資料「学習を支える資料一覧」のQRコンテンツでは、鉛筆デッサンをはじめ、水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな制作の手順が、動画で詳しく紹介されている。また、色の仕組みを理解するための色立体の動画や、美術史の用語解説も見ることができ、知識を深めることができる。 全国の生徒作品を掲載したQRコンテンツが、関連する題材とリンクしている。多様な生徒作品を「作者の言葉」とともに鑑賞し、自分の表現に生かすことができる。	P.9、23、51
		<div>表記・表現</div> 用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。 教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	P.52～55、66～69
		<div>への配慮</div> カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。 活字は鮮明で、読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	P.12～15
③ 使用上の便宜	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかた、活字の大きさ、行間などは適切か。	<div>印刷・造本上の配慮</div> A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、観音開きのページや、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。 「作家のスケッチブック」では、判型の異なる用紙を使用しており、生徒の興味・関心を引き出す造本の工夫がされている。	P.32～34、58～60
		<div>印刷・造本上の配慮</div> A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。 「作家のスケッチブック」では、判型の異なる用紙を使用しており、生徒の興味・関心を引き出す造本の工夫がされている。	P.35～42
		<div>印刷・造本上の配慮</div> A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。 「作家のスケッチブック」では、判型の異なる用紙を使用しており、生徒の興味・関心を引き出す造本の工夫がされている。	P.35～42
④ 造本上の配慮	◎印刷の鮮明さ、製本などは適切か。 ◎環境保全への配慮がなされているか。	A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、観音開きのページや、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。 「作家のスケッチブック」では、判型の異なる用紙を使用しており、生徒の興味・関心を引き出す造本の工夫がされている。	教科書全般
⑤ 所見 総合	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、幅広い表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、表現と鑑賞の各題材で活用できる資料、QRコンテンツなどが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して、「生活や社会の中の美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅱ」の学習指導要領の目標に合致している。	教科書全般

種目	教科書名	番号・略称	記号・番号	出版社名
美術Ⅲ	美術3	38 光村	美Ⅲ 701	光村図書出版

項目	観点	特色・具体例	該当ページ
① 内容の選択・程度	◎学習指導要領、教科の目標を達成するために必要な教材が適切に用意されているか。 ◎基礎的、基本的事項の理解や、その習得のため、適切な配慮がなされているか。	題材、資料、学習活動全般に、学習指導要領に示された「美術Ⅲ」の目標・内容が踏まえられており、「美術Ⅰ」および「美術Ⅱ」の学習を基礎にして、生徒が「造形的な見方・考え方を働かせ」て、「生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成できるよう工夫されている。 A表現・B鑑賞の題材がバランスよく適切に配置されている。また、全ての題材でA表現・B鑑賞を相互に関連させながら学習が深められるよう配慮されている。 日本や西洋の美術だけにとどまらず、幅広い地域や時代の作品が多角的に取り上げられており、生涯にわたり美術を愛好する心情を育み、感性と美意識を磨き、美術文化を尊重する態度を養うことができるよう配慮されている。 各題材や巻末にまとめられた資料では、作品をつくる時の手がかりや基礎的な技法が具体的に示されており、これらを活用することで、生徒が主体的に学習に取り組み、基礎的、基本的な事項を身につけられるよう配慮されている。	教科書全般
② 組織・配列・分量	◎内容の組織、配列、分量は、学習指導を有効に進められるように考慮されているか。 ◎中高の接続に対する配慮がなされているか。	<div>題材</div> 題材が学習指導要領に沿って絵画・彫刻、デザイン、映像メディア表現の分野別に整理され、バランスよく配置されている。内容がひと目でわかるようインデックスで色分けされており、学習指導を進めるうえで使いやすいよう工夫されている。 各題材では学習のねらいを示した目標が記されており、学習指導を効果的に進めることができる。 掲載作品のアイデアスケッチが題材の随所に掲載されており、生徒が作品の主題を生み出す手がかりとすることができる。 鑑賞中心の題材「比べて鑑賞する」では、作品を比較鑑賞することで共通点や相違点について対話したり、それぞれの作品のよさを感じ取ったりするなど、実感的に理解を深めることができる。	教科書全般
		<div>資料</div> 「社会を支える美術の仕事」では、美術に関わるさまざまな職業が紹介されている。イラストを効果的に用いた紙面で、美術への興味・関心を喚起させ、キャリア教育につながる内容である。 「ポートフォリオをつくる」では、作品集のつくり方が詳しく掲載されており、3年間の学びの集大成として、卒業を控えた生徒が参考にすることができる。 「美術館の役割」では、美術館の社会における役割や学芸員の仕事、企画展ができるまでの流れを学ぶことができる。	教科書全般
		<div>QRコンテンツ</div> 各題材や巻末資料には適宜QRコードが掲載されており、関連するQRコンテンツとリンクしている。2ページ大で掲載された「洛中洛外図屏風」には、動画付きの音声ガイドが用意され、鑑賞を深めることができる。 巻末資料「学習を支える資料一覧」のQRコンテンツでは、鉛筆デッサンをはじめ、水彩絵の具を用いた風景画や油絵の具を用いた静物画などさまざまな作品の制作手順が、動画で詳しく紹介されている。また、色の仕組みを理解するための色立体の解説動画や、美術史の用語の解説も見ることができ、知識を深めることができる。	P.12～15
		<div>表記・表現</div> 用語や表記は統一されており、記述のしかたも適切である。 教科書に使用されているマークは、誰もが識別しやすい形や色で示されている。題材の随所には関連する巻末の資料ページを示したマークがあり、学習内容に関連した資料を活用しやすいよう工夫されている。	P.30～33
		<div>への配慮</div> カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。 活字は鮮明で、読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	P.34～35
③ 使用上の便宜	◎学習意欲を高めるための配慮がなされているか。 ◎用語・記号の取り上げ方や記述のしかた、活字の大きさ、行間などは適切か。	<div>UD・特別</div> カラーユニバーサルデザイン、特別支援教育の観点から専門家の校閲がなされており、誰もが学習しやすいよう配慮して紙面がつくられている。 活字は鮮明で、読みやすい大きさ、フォントが使用されており、キャプションなどの比較的小さい文字にはUDフォントが使用されている。	P.36～37
		<div>印刷・造本上の配慮</div> A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	教科書全般
		<div>印刷・造本上の配慮</div> A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	P.38～39
④ 配慮 印刷・造本上の	◎印刷の鮮明さ、製本などは適切か。 ◎環境保全への配慮がなされているか。	A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	教科書全般
		A4ワイド判（297×232mm）の紙面を生かし、2ページ大での作品掲載などが取り入れられている。迫力ある紙面で生徒の学習意欲を高めるとともに、作品を細部まで鑑賞することができる。写真・図版も鮮明で効果的である。 製本が堅牢である。表紙はポリプロピレンラミネート加工により、画材や粘土などによる汚れにも対応できる。また、環境に配慮した紙と植物油インキが使用されている。	教科書全般
⑤ 所見 総合	◎上記観点から見た、全体的・総合的な当教科書の特徴。	学習指導要領に合わせて分野別に整理して構成され、幅広い表現を支援するヒントや多角的な鑑賞体験の提案、卒業を控えた生徒の参考になる資料などが盛り込まれている。「美術の創造的な諸活動」を通して、「生活や社会の中の多様な美術や美術文化と深く関わる資質・能力」を育成するという「美術Ⅲ」の学習指導要領の目標に合致している。	教科書全般